

団体名	たる BOOK		
事業名	小樽に紙芝居の文化を根付かせよう 2019		
実施期間	令和元年 7 月 21 日～10 月 26 日		
事業の目的及び期待する効果	紙芝居という手法で「本との出会い」を作り、さらに、本への関心を深めるきっかけにして、小樽市民が「いつでも・どこでも・だれもが」本と親しめることを目的とし、その結果、本から学ぶ楽しさを知り、心豊かな市民が増えることが期待できる。		
実施額	事業費	158,175 円	助成額 89,810 円
事業内容	<p>1 勉強会 【開催日】7/21(日)、8/25(日)、9/28(日) 【場所】 小樽こどもカフェ 【参加人数】 第 1 回7名、第 2 回7名、第 3 回8名 【開催内容及び状況】 ・発声練習、黙読、読み練習、発表 ・毎回皆さん熱心に予習復習をしてきて、やる気を感じた。</p> <p>2 子ども向け紙芝居 (1) 幼稚園 【開催日】 10/25(金) 【場所】 まや幼稚園 【参加人数】 64 名 【開催内容及び状況】 ・紙芝居師による紙芝居の実施(「まんまるまんま たんたかたん」他3本、 ・子どもたちが興奮していたが、最後まで集中して聞けたので良かった。 (2) 小学校 【開催日】10/25(金) 【場所】 豊倉小、桜小 【参加人数】 ①豊倉小 大人 8 名、子ども 6 名 ②桜小 先生 8 名、小学 1 年生55名、小学2年生 36 名、支援級 5 名 【開催内容及び状況】 ①紙芝居師による紙芝居の実施(「注文の多い料理店」他1本) ②紙芝居師による紙芝居の実施(「まんまるまんま たんたかたん」他2本) ・先生も子どもたちもどんどん紙芝居に引き込まれていく様子を目の当たりに見られて良かった。</p> <p>3 紙芝居講習会 【開催日】10/26(土) 【場所】 生涯学習プラザレピオ 【参加人数】11名 【開催内容及び状況】 ・紙芝居実演のための基本・注意点などの講義、実践練習 ・皆さん大変熱心で、講師のアドバイスでどんどん上達していった。</p> <p>4 大人が楽しむ紙芝居 【開催日】10/25(金) 【場所】 生涯学習プラザレピオ 【参加人数】25 名 【開催内容】 ・紙芝居師による紙芝居の実施(「野ばら」他5本) ・大人の皆さんが心から楽しんでいる様子がわかった</p> <p>5 その他(親子が楽しむ紙芝居実施) 【開催日】10/26(土) 【場所】 生涯学習プラザレピオ 【参加人数】18 名 【開催内容】 ・紙芝居師による紙芝居の実施(「まんまるまんまたんたかたん」他3本)</p>		

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください。

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
7月～9月	勉強会	30名	22名
10月25日(金)	幼稚園、小学校訪問	150名	182名
10月25日(金)	大人が楽しむ紙芝居	30名	22名
10月26日(土)	親子で楽しむ紙芝居	予定外	9組18名
10月26日(土)	紙芝居講習会	20名	11名

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

- ・ 今年度は、新たに「勉強会」を開催したが、会員以外に市民の参加もあり、紙芝居に関心を持ち、一緒に学んでくれた。3回の勉強会終了後も継続したいとの申し出があり、紙芝居だけではなく、読み聞かせ・詩の朗読なども含め、行っている。また、市民で参加していた方たちは現在、会員として活動に参加している。
- ・ 幼稚園・学校での公演は、とても喜んでもらえて、ぜひ、来年もと言われた。子どもたちがどんどん紙芝居に惹きこまれていく様子を先生たちが目の当たり出来たからだと思う。
- ・ 当初予定していなかった「親子で楽しむ紙芝居」も昨年より参加が多く楽しんでもらったので開催して良かったと思う。
- ・ プレゼンの時に、紙芝居を作ってはという質問があったが、「石蔵再生会」のイベントの中で小樽に歴史などに触れる紙芝居を作成することができた。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

アンケートからもわかるようにも参加した方々の満足度は高かった。

特に幼稚園、小学校訪問では、先生たちの反応が実施前と実施後ではかなり違い、「事前にわかっていたら、1時間の授業時間を使ったのに」という感想をもらった。プロの紙芝居師による実演は、みなさん初めてだったのでしかたないが、それほどまでに「紙芝居の文化」は低く思われていたのだと改めて感じた。次年度もぜひという声も多く、また、様子を聞いた他の幼稚園や学校からも来年ぜひ来てほしいとの声もあった。

3. 今後の事業について

- ・ 幼稚園・学校向け・親子・大人の公演をすることで、多くの市民の方に紙芝居を知って、楽しんでもらいたい。
- ・ 講師の講習会まで、各自がスキルアップできるような活動を会としても継続していく。
- ・ 定期的に、紙芝居を上演できるような企画を考えたい。
- ・ 学校評議員をしている中学校で紙芝居に関心があるという話を聞いたので、授業の中で紙芝居を使って、プレゼンする方法などできればと思う。